

学校教育目標

『自主 協力 継続』

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
 協力 協力し、励ましあう生徒
 継続 ねばり強く、努力する生徒



絆



学校だより No. 6
 令和元年10月29日

市川市立第八中学校
 校長 佐野 典行

ホームページ <http://www.dai8-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

学校評価 ～第1回保護者アンケート結果～

1学期に保護者の皆様からいただいた保護者アンケートの集計結果をお知らせいたします。この集計結果並びに記述いただいた内容は、貴重なご意見として真摯に受け止め、学校教育の改善に役立てさせていただきます。

令和元年度 第1回保護者アンケート結果(全校)

肯定的・・・「そう思う」「どちらかというと思う」
 否定的・・・「どちらかというと思わない」「そう思わない」

◆子どもの学習や生活(確かな学力、豊かな心、健やかな体)に関すること 回答(%)

質問内容	肯定的	否定的
1 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	70	30
2 お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	56	44
3 お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	64	36
4 お子さんは、学校で個に応じた丁寧な学習指導を受けている。	53	47
5 お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	84	16
6 お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。	87	13
7 お子さんは、誰とでも優しく関わっている。	93	7
8 お子さんは、いじめもなく友達と仲良く生活している。	92	8
9 お子さんは、すすんで(外で遊ぶなど)体を動かしている。	61	39
10 お子さんは、自らの安全(交通事故・けがなど)に気をつけて生活している。	92	8
11 お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠・食習慣など)が身についている。	69	31

◆学校に関すること 回答(%)

質問内容	肯定的	否定的
1 学校は、目指す子どもの姿や学級経営方針について、保護者に理解されるように努めている。	83	17
2 学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている。	82	18
3 学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	80	20
4 学校は、特色のある取組や教育を進めている。	61	39
5 学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。	70	30

【主な課題と対応について】

- ①課題… 「お子さんは学校で個に応じた丁寧な学習指導を受けている」は肯定的な意見が53%と低い数値になっています。
 対応… 前期は、1年生の数学で補助の教員が授業に1人入り、生徒の個別支援にあたっていました。後期は、1年と3年の数学で、1学級を2つに分けた少人数指導を実施し、個に応じた丁寧な指導を行っています。
- ②課題… 「お子さんは、家庭学習の習慣が身についている」は肯定的な意見が64%で、昨年度の62%よりやや上がっていますが、満足できる数値ではありません。
 対応… 今年度、「家庭学習のすすめ」を改訂して各家庭に配付し、家庭の協力を得て学習習慣の確立を図ってきました。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ③課題… 「学校は、特色のある取組や教育を進めている」は肯定的な意見が61%と低い。
 対応… 八中では、他校にはない中高連携を県立市川工業高校と行っており、工業高校ならではの職業に直結した学習を体験しています。今後は、プログラミング教育についても連携できないか検討していきます。
- ④課題… 国語教育や語彙力は全ての学習の基本であり、大事にしてほしい。(記述より)
 対応… 新学習指導要領でも、生徒同士が互いに学び合い、高め合う授業の工夫・改善が求められ、その土台は「伝え合う力」の育成にあると考えます。授業研究会等を通じて、教員のさらなる授業力の向上に努めます。

この他、学校行事や部活動、人間関係づくり等に関する様々なご意見も頂いています。貴重なご意見をありがとうございました。

教員相互の授業参観

上記④の教員の授業力向上の具体的な方策として、教員の自主的な相互授業参観に取り組んでいます。この取組は、教員同士が授業を見合うことで、互いの授業力を向上させようというものです。まだ浸透していませんが、過日、社会科の高橋先生が自ら実践してくれました。先生は考える場を意図的に設定し、生徒たちはグループ内で楽しそうに互いの意見を交換していました。



この他、10月10日には授業研究会があり、夏休みから練り上げた授業を教科ごとに講師を招いて見ていただき、指導・助言を受けました。

生徒会役員選挙 八中をより良くしたい!

9月26日、生徒会役員選挙が行われました。立候補者たちは、毎朝正門に立って選挙活動を繰り広げ、立会演説会では、応援弁士とともに「八中をより良くしたい」という熱い思いを自分の言葉で精一杯伝えていました。



立会演説会にあたり、生徒たちに「みんなの意見で衣替えのきまりが変わったことは、八中にとって大きな一歩であり、それはみんなの中に自分のためではなく、自分たちの学校生活をより良くするにはどうすればいいかということ真剣に考えてくれる人が出てくれたからだ。」という話をしました。



私は、この学校を「みなさんが主役の学校にしたい」と常々言ってきました。学校行事は、企画、立案、司会、進行に至るまで、全て生徒に任せたい。また、全校に関わることで、困ったことがあれば、みんなで話し合ってより良い解決策を見つけ、自分たちで改善して欲しいと願っています。そんな学校づくりを、新生徒会役員と新たに専門委員会の委員長になった人たちに託したいと思います。